

天馬の記
岡部耕大

30

星鹿の逃げの浦には元寇防壁が残りしている。血田という地名もある。星鹿半島城山は沿岸防衛の本陣的な役割を果たしていたそうである。

わたしたちは歌いながら歩いた。木下恵介監督の松竹映画「二十四の瞳」に、これとそっくりのシーンがある。喜美子先生が嫁がれた家は小高い丘の上にある古民家であった。喜美子先生はまだ寝込んでいた。横の布団

には生まれたばかりの赤ん坊が寝ていた。真っ赤な顔であった。赤ん坊とはよくいったものである。喜美子先生は慌てて起き上がった。寝間着には小指ほどの血が付いていた。そして、姑に「すみません」と謝っていた。

さいを振る舞われたが味はしなかった。お代わりをする同級生の無神経さに腹が立ってにらみつけた。この友人は少年自衛隊に入隊した。そして、赤ん坊をあやす喜美子先生と赤ん坊から、人間の不思議と神秘を感じ

て就職していった。テレビで見た、東北から上野駅に着いた集団就職の群れも同じスタイルであった。「金の卵」といった。もう、わが家にもテレビは来なかった。今年には集団就職列車が終了して40年だそうである。

黒澤明監督の晩年の作品に「まあだだよ」がある。老教師と中年の教え子との物語である。あの映画でも「仰げば尊し」

赤ん坊あやす先生

た。教室で見る喜美子先生の顔とは違っていった。嫁いだばかりの遠慮した嫁の顔であった。

人間は、あまり近づき過ぎると人間の良さも悪さも、見境がつかなくなるのかもしれない。

卒業式では、京阪神に集団就職した。あの日、わたしは一人になったのかもしれない。友人は帰り道は遠かった。だれもが卒業生をタスターコートに包ん

で就職していった。テレビで見た、東北から上野駅に着いた集団就職の群れも同じスタイルであった。「金の卵」といった。もう、わが家にもテレビは来なかった。今年には集団就職列車が終了して40年だそうである。

た。教室で見る喜美子先生の顔とは違っていった。嫁いだばかりの遠慮した嫁の顔であった。

人間は、あまり近づき過ぎると人間の良さも悪さも、見境がつかなくなるのかもしれない。

卒業式では、京阪神に集団就職した。あの日、わたしは一人になったのかもしれない。友人は帰り道は遠かった。だれもが卒業生をタスターコートに包ん

で就職していった。テレビで見た、東北から上野駅に着いた集団就職の群れも同じスタイルであった。「金の卵」といった。もう、わが家にもテレビは来なかった。今年には集団就職列車が終了して40年だそうである。



おかへ・こうだい 1979年に「肥前松浦兄妹心中」で岸田戯曲賞を、89年に「亜也子」で紀伊國屋演劇賞個人賞を受賞。日本劇作家協会元理事。松浦市で毎年、子供たちにミュージカルを指導している。川崎市在住。70歳。

(松浦市出身)